



心臓財団
季報

報 No.170

財団法人日本心臓財団
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル835区-A
Tel 03-3201-0810 Fax 03-3213-3920 e-mail:info@jhf.or.jp http://www.jhf.or.jp/

FEBRUARY 10, 2003

**第16回日本心臓財団・バイエル薬品
海外留学助成対象者決定**

10名を選考

日本心臓財団では日本循環器学会の後援のもとにバイエル薬品株式会社の協力を得て、循環器疾患の研究に携わる35歳未満の研究者が海外の研究機関に留学し、研究を行うための助成事業を実施しており、16回目を迎えました。

今回は全国より28名の応募申請があり、1月31日に東京で選考委員会が開かれ、下記の10名が選考されました。

贈呈式は来る3月30日、福岡で開催される第67回日本循環器学会総会・学術集会(会長:竹下彰九州大学教授)時に行

われます。

助成金はそれぞれ300万円です。

- | | | |
|--------|--------|-----------------|
| 選考委員長 | 篠山 重威 | 浜松労災病院院長 |
| 選考委員 | 荒川 規矩男 | 福西会川浪病院名誉理事長 |
| (五十音順) | 多田 道彦 | 大手前学園栄養文化学院教授 |
| 敬称略) | 藤島 正敏 | 九州大学名誉教授 |
| | 村山 正博 | 横浜市スポーツ医科学センター長 |

第16回海外留学助成対象研究者

(五十音順・敬称略・助成金額はそれぞれ300万円)

番号	氏名	所属	研究課題	留学先
1	阿部 倫明 (33歳)	東北大学医学部 腎高血圧内分泌科 医員	プロスタノイドによる傍系球体装置の血圧調整メカニズムの解明、及び新薬の創製	ヘリーフォード病院 (米国)
2	有馬 久富 (33歳)	九州大学医学部附属病院 第二内科 医員	老年者高血圧の治療対象血圧値および降圧目標の検討:大規模介入試験のメタアナリシス	シドニー大学 (オーストラリア)
3	佐々木 健一郎 (33歳)	久留米大学医学部 第三内科 助手	ヒト内皮前駆細胞の心筋細胞への形質転換:その基調となる分子機構の解明	フランクフルト大学 (ドイツ)
4	鈴木 重明 (34歳)	慶應義塾大学医学部 神経内科 助手	脳虚血におけるグルタミン酸とカルシウムイオンの動態とアストロサイトの役割	ニューヨーク医科大学 (米国)
5	竹下 享典 (34歳)	名古屋大学大学院医学系研究科 病態内科学講座 器官制御内科 大学院生	グルココルチコイド受容体による血管内皮細胞における一酸化窒素合成酵素の活性化機構	ハーバード大学プリガム・ ウィメンズ病院 (米国)
6	伯野 大彦 (32歳)	慶應義塾大学医学部 呼吸循環器内科 助手	マウス体性幹細胞を用いた心筋再生、分化誘導法の開発	ハーバード大学プリガム・ ウィメンズ病院(米国)
7	樋口 義治 (33歳)	大阪大学大学院医学系研究科 病態情報内科学 大学院生	遺伝子導入法を用いたMAPキナーゼ系の制御による心不全治療の可能性の検討	ゲッチング大学 (ドイツ)
8	的場 哲哉 (31歳)	九州大学大学院医学研究院 循環器内科学 非常勤研究員	AktによるeNOSのリン酸化と血管内皮機能	ロチェスター大学 (米国)
9	村上 政男 (33歳)	熊本大学発生医学研究センター 助手	心臓の発生と病態における転写調節・シグナル伝達機構の意義	テキサス大学 (米国)
10	渡邊 哲 (33歳)	山形大学医学部 第一内科 助手	心不全における心臓リモデリング進展様式の解明と遺伝子治療の開発	ロチェスター大学 (米国)

「動脈硬化Update」研究助成を開始

「動脈硬化」は、脳卒中、心臓疾患、糖尿病等と関連が深く、高齢化が進む今日、これらの予防、治療はますます重要となり、最近はその研究領域も分子遺伝学、代謝内分泌、疫学などと多岐にわたっております。そこで動脈硬化研究の一層の進展と少壮研究者の育成に努めるうえで、当財団ではこのたび「動脈硬化Update」研究助成を開設し、第1回を実施いたします。

募集要項

1. 研究テーマ

動脈硬化領域における基礎と臨床及び疫学

2. 助成対象

動脈硬化領域における研究を行う研究者に対して助成を行う

3. 助成金額及び件数

総額400万円(最優秀賞200万円を1件、優秀賞100万円を2件)

4. 応募資格

- 1) 対象：原則として個人研究
- 2) 年齢：1963年4月1日以降に生まれた者
- 3) 施設：臨床教室及びそれに準ずる施設
- 4) ただし、次の事項に該当する者は応募できない
同一研究テーマで他の助成を受けた者
研究助成発表会当日に応募者本人が口演不可能と思われる場合
- 5) 海外での業績については応募除外(国内のみ)とする
- 6) 原則として日本国内の研究施設に所属する者に限る
- 7) 倫理上問題となることが予想される研究については、所属施設の倫理委員会の承認を得ていることを示す書類のコピーを添付する

5. 応募締切日

2003年4月15日(火)必着

お問い合わせは、当財団事務局まで

「高血圧・高脂血症と血管代謝」研究助成募集

当財団ではファイザー製薬株式会社の協力のもとに、これまで「高血圧と血管代謝」研究助成を10回行ってまいりました。

第11回より助成範囲を広げ、規模も大きくし、名称を「高血圧・高脂血症と血管代謝」研究助成と改め、引続き同社の協力を得て実施します。

募集要項

1. 研究分野及び助成対象

心臓血管病の予防という観点に立ち高血圧及び高脂血症の分野において研究を行う研究者に対して助成を行う。

なお、研究助成テーマの募集は、基礎、臨床に分けて行う。

2. 助成金額及び件数

総額900万円(100万円を最優秀賞として基礎・臨床から合計5件、40万円を優秀賞として10件)

3. 応募資格

- 1) 対象：原則として個人研究
- 2) 年齢：1963年4月1日以降に生まれた者
- 3) 施設：臨床教室及びそれに準ずる施設
- 4) ただし、次の事項に該当する者は応募できない
前年度の最優秀助成対象者の連続応募
同一研究テーマで同年度に他の助成を受けた者
研究助成発表会当日に応募者本人が口演不可能と思われる場合
- 5) 留学中に行った研究でも可
- 6) 原則として日本国内の研究施設に所属する者に限る
- 7) 倫理上問題となることが予想される研究については、所属施設の倫理委員会の承認を得ていることを示す書類のコピーを添付する。

4. 応募締切日

2003年4月15日(火)必着

お問い合わせは、当財団事務局まで

日本心臓財団では、ホームページを充実させる上で、次の2つのテーマを考えております。

一般の方にわかりやすく心臓病を理解していただくこと

今日からできる心臓病をはじめ生活習慣病予防

本年1月30日、セカンド・オピニオンデータベースに2001年8月～2001年12月にお問い合わせのあった111件を追加しました。カテゴリーも5項目から10項目へと増やし、内容も充実。今後は3ヶ月程度の割合で追加してまいりたいと存じます。

次に、「心臓病図書館」として、心臓病に関するデータを掲載するコーナーを立ち上げたいと考えております。みなさまから、「心臓病図書館」として掲載してほしい心臓病に関する項目、データがございましたら是非ご意見をいただきたく存じます。

老いを、いかに健やかに生きるか

第67回日本循環器学会市民公開講座開催

当財団と第67回日本循環器学会、日本学会議循環器学研究連絡委員会、朝日新聞主催による市民公開講座「老いを、いかに健やかに生きるか」が3月23日(日)にアクロス福岡にて開催されます。

長寿社会を迎え、健康に不安を感じる人々が多くなってきました。楽しく豊かな生活を送るためには、病気についての正しい知識を持つことが大切です。そこで第67回日本循環器学会の学会集會時に生活習慣と心臓病や高血圧、高脂血症などの循環器病の予防と対策についてフォーラムを開催します。1800名様を無料でご招待します。お気軽にご参加ください。

【お申し込み方法】

参加ご希望の方は、はがき、FAXまたはEメールにて参加希望人数と希望者全員の郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入のうえ、下記宛お送りください。折り返し「ご招待状」をお送りします。循環器病に関して質問のある方は、はがきやFAX、Eメールにその内容を明記してください。3月14日(金)消印有効。応募者多数の場合は抽選となります。

〒810-8799 福岡中央郵便局留め
 「第67回日本循環器学会 市民公開講座参加募集」係
 FAX : 092-865-3383
 Eメール : cdc66760@hkg.odn.ne.jp
 お問合せ電話 : 092-865-3383(平日9:00~18:00)

プログラム

- ・日時 平成15年3月23日(日)
午後1時~3時45分(開場:正午)
- ・会場 アクロス福岡/福岡シンフォニーホール
(福岡市中央区天神1-1-1)

挨拶 第67回日本循環器学会会長 竹下 彰 先生
 「座長」九州大学大学院医学研究院循環器内科学教授
 竹下 彰 先生

講演1 「高齢者の高血圧」
 講師: 国立循環器病センター 名誉総長
 尾前 照雄 先生

講演2 「老いに輝く新老人の生き方」
 講師: 聖路加国際病院理事長 名誉院長
 日野原重明 先生

シンポジウム

司会 九州大学大学院医学研究院循環器内科学教授
 竹下 彰 先生

座談会 国立循環器病センター 名誉総長
 尾前 照雄 先生
 聖路加国際病院理事長 名誉院長
 日野原重明 先生

- ・後援 福岡県、福岡市、日本医師会、福岡県医師会、福岡市医師会
- ・協賛 三共株式会社

ホームページより セカンド・オピニオン/ 循環器専門医に聞いてみよう

「セカンド・オピニオン」は主治医以外のご意見を聞きたい方。「専門医に聞いてみよう」とはとにかく専門医にご相談してみたいという方。その違いがよくわからないというご質問をいただきますが、今回は「循環器専門医に聞いてみよう」のお問い合わせをご紹介します。



狭心症といわれました。気をつけなければいけないことを教えてください。
 45歳、男性



一般的なことを申しますと、狭心症とは心臓を養っている冠動脈の強い収縮や狭窄があって、心臓への血液の巡りが損なわれる状態で起こります。症状としては、運動したりしたときに、胸が締め付けられるような痛みを感じます。冠動脈に狭窄があって、血流が増加しにくい状態となっているときに、運動することで血流の需要が増大すると、血流不足となってしまうからです。冠動脈収縮性の狭心症の場合は運動とは関係なく、起こることがあります。冠動脈の収縮が起こりやすい時間帯があって、安静時でも、とくに早朝、明け方に起こったりするのが特徴的です。こうした冠動脈の病変は概

ね、冠動脈が動脈硬化を来した結果、生じます。動脈硬化の程度が軽いときには、強い収縮が起こりやすく、動脈硬化が進行すれば、血管内腔が狭くなって、狭窄性となるといわれています。

診断のためには、心電図検査が第一です。とくに狭心症発作時の心電図を捉える事が大事です。このためには、24時間心電図検査や運動負荷試験が行われます。第二にはアイソトープ試験です。アイソトープ標識をしたマーカーを注射して心臓への分布を調べることにより、血流の乏しい部位を検出するのです。第三は心臓カテーテル検査です。冠動脈に造影剤を流して動画撮影し、冠動脈病変を見出します。これらのほかにも、CT、MRI検査や血管内視鏡検査、血管内エコー検査などを行って今後の危険性を予測する場合もあります。

診断が確定したら、治療に入ります。治療内容は冠動脈病変の内容、程度によって、異なってきます。しかし、基本的には、患者さん自身が日常生活の中で、動脈硬化の進展を防止するよう努めることが前提です。動脈硬化の進行には、血圧、コレステロール、喫煙、過度の飲酒、運動不足、肥満、糖尿病、ストレス、あるいはストレスを受けやすい性格などが絡んでいます。身に覚えのあるところから、是正するように心がけることが大事です。また、発作の誘因となるものには、精神的・肉体的な過労、過度の運動、暴飲暴食などがあります。とりわけ、動脈硬化の要因に覚えのある向きは診断の確定をまつまでもなく、こうした誘因には注意しなければなりません。

ご支援ありがとうございます

当財団の賛助会にご協力いただいている企業・団体一覧

心臓病、脳卒中など循環器疾患の予防制圧をめざす日本心臓財団の事業の維持と発展にご協力下さるため賛助会にご加入いただき、ご支援を賜っております企業・団体は下記のとおりです。 (今年度分：五十音順)

旭化成工業(株)	興和(株)	中外製薬(株)	日本光電工業(株)	フクダ電子(株)
アストラゼネカ(株)	三共(株)	中部電力(株)	日本コーリン(株)	藤沢薬品工業(株)
アベンティスファーマ(株)	(株)三和化学研究所	(株)ソムラ	日本シェーリング(株)	ブルーミング中西(株)
エーザイ(株)	(株)ジェイティーピー	帝人(株)	日本心臓ペースメーカー友の会	丸善(株)
大塚製薬(株)	塩野義製薬(株)	テルモ(株)	日本新薬(株)	(株)三井住友銀行
小野薬品工業(株)	(株)スズケン	トーアエイヨー(株)	日本製紙(株)	三井物産(株)
オムロン(株)	住友製薬(株)	東京海上火災保険(株)	日本生命保険(相)	三菱ウェルファーマ(株)
河北印刷(株)	(株)世界貿易センタービルディング	東京電力(株)	日本ペーリンガーインゲル	三菱地所(株)
川崎製鉄(株)	ゼリア新薬工業(株)	東芝メディカル(株)	ハイム(株)	三菱信託銀行(株)
関西電力(株)	第一製薬(株)	鳥居薬品(株)	日本メドトロニック(株)	明治製菓(株)
救心製薬(株)	大正製薬(株)	日研化学(株)	ハルティスファーマ(株)	明治生命保険(相)
杏林製薬(株)	大日本製薬(株)	(株)日清製粉グループ本社	バイエル薬品(株)	持田製薬(株)
(株)協和企画	太平洋セメント(株)	日本アイ・ピー・エム(株)	バクスター(株)	山之内製薬(株)
協和醗酵工業(株)	(株)大和銀行	(社)日本医師会	(株)白洋舎	ユフ精器(株)
麒麟麦酒(株)	武田薬品工業(株)	日本ガイダント(株)	万有製薬(株)	
(株)ゲッツブラザーズ	田辺製薬(株)	日本軽金属(株)	ファイザー製薬(株)	
(株)講談社	中央建物(株)	日本ケミファ(株)	ファルマシア(株)	

当財団へのご寄付

次の方からご寄付を頂戴しました。ここにご芳名を記して感謝の意を表します。(2002年11月~2003年1月)

赤澤 薫 様	茨城県ひたちなか市	2万円
青山 文子 様	茨城県笠間市	2万円
屋代 芳郎 様	茨城県西茨城郡	1万円
葛城 徳彦 様	茨城県ひたちなか市	3万円
加藤 正明 様	愛知県名古屋	5万円
金澤 勉 様	茨城県西茨城郡	3万円
東崎 喜代乃 様	茨城県東茨城郡	5万円
石崎 つる 様	茨城県東茨城郡	1万円
大園 よしい 様	茨城県那珂郡	5万円
會澤 和夫 様	茨城県水戸市	10万円
株式会社 東横イン 様	東京都大田区	10万円

当財団をご支援くださる方

本年度もご支援をいただいた方のご芳名を掲載します。

(敬称略：2002年11月1日~2003年2月5日)

江頭 泰幸	斉藤 崇	橋本 敬太郎	渡辺 滋
河北 成一	佐藤 和子	東 あかね	
北 島 顕	鈴木 一夫	森 利枝	

あとがき

日本循環器学会が、禁煙宣言を行い、学会をあげて健康面からたばこ対策に取り組むことになりました。当財団もしばらく中断していた「たばこ健康問題NGO協議会」に昨年12月再加盟し、同協議会の一員として、まずは来る5月31日の世界禁煙デーに向けて活動してまいります。また日本循環器学会、禁煙推進団体等とも手を携えて、あらためてたばこ問題に取り組んでまいります。

心臓財団からのお願い

~ ご寄付ならびに賛助会ご加入 ~

当財団が循環器疾患の予防・制圧事業を展開するうえで、その多くは寄付金ならびに賛助会費により支えられております。あなたのまわりの方にもぜひ呼びかけてください。

ご寄付はいくらでも受けさせていただいております。当財団は「特定公益増進法人」として認可を受けておりますので、税制上の優遇措置が講じられております。

賛助会は日本心臓財団の目的に賛同し、その働きを支援する方々、法人によって構成されています。賛助会費は、個人の場合、年額1万円、法人の場合は5万円です。何口でも差し支えありません。

ご支援いただける場合は、下記の口座をご利用ください。

郵便振替口座 00140-3-173597

宛て先 財団法人日本心臓財団



お近くにお越しの際は、お立ち寄り下さい。

当財団は地球環境保護を重要と考え、この季報には再生紙を使用しております。